

6 財務戦略

		中期目標		中期プラン				
項目	目標	目標の説明	ロードマップ				プラン内容	
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
1	基本金組入前当年度 収支差額	永続的に発展できる財務体質の構築	教育研究への投資と、施設設備の更新や維持を両立できる財務体質を構築する。 当面の目標としては、2019年度予算までに基本金組入前当年度収支差額をプラスとし、2020年度以降も収支差額のプラスを維持した予算編成を行い、その範囲で中長期的に施設計画を継続実施できるよう、必要に応じて収支改善策を実施していく。					①事業活動収入の増加策の実施 ・学生生徒等納付金収入の計画的な確保 ・寄付金収入の受入増 ・資産運用の運用方針の検討、ほか ②事業活動支出の削減策の実施 ・人件費の見直し検討 ・その他の支出の見直し検討 ③基本金組入前当年度収支差額 ・2019年度以降プラス予算を達成したうえで、資金計画を実行
2	資金計画	施設計画と連動した資金計画の策定・実行	中長期の老朽化施設の建替え及び中長期修繕費の財源を明確にし、計画的な施設更新・保全計画を実現する。					①建替え・修繕計画に対応した資金計画を2019年度予算から盛り込む。 ②収支差額をプラスとする2019年度より、毎年度30億円を目標に建替え・修繕計画の財源とする。なお、計画が財源を下回る場合は減価償却引当特定資産に積立てる。 ③既存建物の建替え以外の新規の計画が盛り込まれた場合、別途資金計画を見直す。 以降、計画の進捗を毎年度検証し、必要に応じて見直していく。
3	予算編成	基本金組入前当年度収支差額を指標とした予算編成	予算をより有効に活用するため、予算編成方法を都度検証・見直し、適切に予算を配分する。					基本金組入前当年度収支差額を指標とした予算編成方法を継続的に実施し、課題等を検証のうえ、都度見直し改善する。

学校法人明治大学第2期中期計画

6 財務戦略

(1) 基本金組入前当年度収支差額【永続的に発展できる財務体質の構築】

大学の使命である教育研究への投資と、施設設備の更新・維持を両立できる財務体質を構築します。当面の目標として、2019年度予算までに基本金組入前当年度収支差額をプラスとし、2020年度以降も収支差額のプラスを維持した予算編成を行い、その範囲で、教育研究活動への戦略的な投資と、中長期的に施設計画を継続実施できるよう、収支改善策を実施していきます。事業活動収入の増加策として、学生生徒等納付金収入の計画的な確保、外部資金の獲得強化、寄付金収入の受入れ増加、安定的な資産運用収入等の施策を関係部署と連携して実施していきます。事業活動支出の削減策として、規程化されている経費についても目的毎に内容を精査し、人件費も含めて見直しを行います。

(2) 資金計画【施設計画と連動した資金計画の策定・実行】

中長期の老朽化施設の建替え及び中長期修繕費の財源を明確にし、計画的な施設更新・保全を実現します。2019年度より、収支差額プラスを維持した上で、毎年度30億円を目標に建替え・修繕計画の財源とします。なお、計画が財源を下回る場合は、減価償却引当特定資産に積み立てます。以降、計画の進捗を毎年度検証し、必要に応じて見直していきます。ただし、既存建物の建替え以外の新規施設建設が計画された場合には、別途資金計画を見直します。

(3) 予算編成【基本金組入前当年度収支差額を指標とした予算編成】

予算をより有効に活用するため、基本金組入前当年度収支差額を指標とした予算編成を継続的に実施します。課題等を都度検証のうえ、改善を実施して適切に予算を配分します。

以 上